

会計システム専門監査人部会 活動報告

システム監査学会
会計システム専門監査人部会

発表者：平塚康哲

2020年11月 6日

JSSA

All Rights Reserved, Copyright Japan Society for Systems Audits 2020

発表テーマ

企業会計のDXと専門監査人の関わり

DX for corporate accounting and how CMAAS
auditor work in the movement

発表者 平塚康哲



All Rights Reserved, Copyright Japan Society for Systems Audit 2020

1

会計システム専門監査人部会とは

会計システム専門監査人は、会計システムに関する専門知識を保有し、会計情報の不正等を指摘できる技量と知見を有する監査人として認定された事を示す資格です。これは、実務上、会計監査において、内部統制監査の支援をするため、IT統制上の観点から財務報告の適正性について監査人に意見を述べる事ができるという事になります。

これまでに、会計システム専門監査人が使用する目的で「会計システム監査実施ガイド」の作成、実践的な会計システムのシステム監査を行う事を目指し「SAP ERPの業務処理統制の実際的例の研究」における成果物の作成を行って来ました。

題目について

企業会計に関し、財務省での電子化推進及び監査法人の電子化対応が、世の中全体のDXの方向性に準じて進んで来ている。

一方で、この方向性に併せると共に、昨今のコロナ禍により、企業側でも様々な面での電子化の採用が試みられてもいる

会計システム監査人は、この状況変化に対応をしていく事を求められており、それについて考察を試みる

DX(デジタル・トランスフォーメーション)

システム監査学会第33回研究大会

「統一論題:2025年ITの崖とシステム監査」

開催趣旨の中での記載

“新しいデジタル技術を活用し、戦略的に新たな付加価値を生みだしていくこと(DX デジタルトランスフォーメーション)”

経済産業省(https://www.meti.go.jp/policy/digital_transformation/index.html)

経済産業省のデジタル・トランスフォーメーション(DX)とは

これまでの、文書や手続きの単なる電子化から脱却。

IT・デジタルの徹底活用で、手続きを圧倒的に簡単・便利にし

国民と行政、双方の生産性を抜本的に向上します。

また、データを活用し、よりニーズに最適化した政策を実現。

仕事のやり方も、政策のあり方も、変革していきます。

DXの考え方の普及

新政府のデジタル庁創設

- ◆ 官でのデジタル化推進

世の中でのDXという考え方を取り入れる努力

- ◆ テレビCMでも出て来ている

企業に対するDXの為のサービス提供の増加

企業会計でのDX

企業会計におけるDXは、ERP等の企業会計情報システムの導入・進化をベースに、その延長上にあると考えられる

単なる電子化、IT化から、それをてこにした企業価値の向上を目指す事が求められる

企業会計におけるデジタル化は、企業活動の全てを網羅し、俯瞰し、詳細を分析できる事を目標にするのがDXという考え方に当てはまる活動

会計監査と社内統制等との連携の円滑化を図り、適切な監査を可能とし、企業活動を向上させることが出来る

官側のDX対応

金融庁：

令和2事業年度金融行政方針で、デジタル・トランスフォーメーションの進展への対応の検討を示している

“デジタル・イノベーション”という言葉も多用し、より多様な形に対応することを意識している

経済産業省：

行政サービスとの進化の連携

経済産業省デジタルプラットフォーム構築事業

会計士協会でのDX

公認会計士による会計監査において、ITによる監査方法の実践が進んでいる。

会計監査におけるAIツールの導入も、実用化されつつある

- ◆ 導入の為の経験が必要

(昨年の発表資料から) 会計監査におけるAIの活用

数年前から、AI活用の議論、実践が始まっている。

最近では、大手監査法人では、実際の使用可能性を研究する部署を持ち始めている。

世の中のAIブームに乗っているという言い方もあるが、AI自体が認知され、人でなくてもある程度高い可能性で、物事を見極める事が出来て来ているという認知が出て来ていると考えられる。

実は、この背景には、公認会計士の減少という問題もある。

近年の公認会計士試験の合格者数は以前に比べると減少傾向にある。

不正が増加傾向にあるかもしれない中で、人だけに頼れない状況になって来ている。

最後は人による判断だと思うが、ツールとしては役に立つ事が期待される。

専門監査人のDXにおける役割

会計システム専門監査人は、会計システムに関する技術的な知識を持っている事から、J-SOX開始時代よりさらに会計監査に対して支援が出来ると期待される

一方で、DXは技術だけのものではないので、デジタル化/IT化をどの様に推進するのかを監査視点からアドバイスを行う事が大切であると考えられる

まだDXに関する認識が定まっていない事もあり、今後も継続的にその動きを注視し対応出来る様にしておく事が必要である

会計システム専門監査人部会 活動報告

ご清聴ありがとうございました

システム監査学会
会計システム専門監査人部会

主な情報出典：
経済産業省、金融庁、システム監査学会 Webサイト



All Rights Reserved, Copyright Japan Society for Systems Audits 2020